

中小企業産業大学の 2018 年度研修プログラムについて 研修ガイドブックを発行／受講者の募集を開始

このたび、ふくい産業支援センター人材育成部（中小企業産業大学校）では、2018年度の研修プログラム40本を策定し、年間計画にまとめた研修ガイドブックを発行しました。当大学校の研修プログラムを社員教育の一環として組み入れるなど、各企業の人材育成に活用していただきたく、ガイドブックを希望する企業には、必要部数を無料で配布します。

併せて、当該研修の申込受付も開始しますので、是非とも、ご周知いただきますよう、ご案内申し上げます。

【2018年度 研修プログラムの主な特長】

◆ ICT活用の視点を取り入れた研修の充実

生産性向上の手段として普及が進む「IoT」や「自動化」、「データ活用」に関する研修を実施。

【新規】ものづくり現場のIoT基本習得セミナー

製造業の現場での活用を前提としたIoT関連の基礎知識を習得するとともに、最小の投資でIoTを活用して現場改善を行う考え方や手法を学ぶ。

【新規】産業用ロボットを活用した生産性向上セミナー

自動化の主役を担う産業用ロボットに関して、導入のハードルが高い中小企業の実情に即し、ロボット導入の考え方や生産性向上について事例や実演を通して学ぶ。

【継続】マーケティングに活かすビジネスデータ分析入門講座

社内に蓄積している大量のデータやオープンデータ等を、マーケティングに有効活用するための考え方やExcelによる分析手法を学ぶ。

◆ 働き方改革の視点を取り入れた研修の充実

生産年齢人口の減少が進む中で、多くの業界で喫緊の課題となっている人手不足への対応や、働き方・職場環境の改善に対応した研修を実施。

【新規】間接業務の仕事改善セミナー

会社のあらゆる業務支援を行う「間接部門」にスポットをあて、組織全体の生産性向上に貢献できるような“仕事の質を高める”改善の具体的スキルを習得する。

【新規】多様な働き方を実現する社内制度のつくり方

シニア層の継続雇用、女性活躍支援、在宅勤務、長時間労働の抑制などの多様な働き方を実現し、生産性向上につなげることができる仕組みづくりについて学ぶ。

【新規】生産性改善と組織変革につながる働き方（「平成塾2018」の中で実施）

経営者・経営幹部・管理者を受講対象とした長期研修「平成塾2018」において、生産性向上につながる働き方の考え方や人材マネジメントの手法について学ぶ。

【研修ガイドブックの申込方法・申込先】

電話、FAX、Eメールのいずれかにより、①郵便番号・住所、②企業名、③役職・氏名、④必要部数をご連絡いただければ、無料にて送付いたします。

■ 本件に関するお問い合わせ先・ガイドブック送付お申し込み先 ■

公益財団法人ふくい産業支援センター 人材育成部(中小企業産業大学校) 担当:栗井

電話:0776-41-3775 FAX:0776-41-3729 e-mail:manabi@fisc.jp

ホームページ: <http://www.fisc.jp/fiib/> (HPでも当ガイドブックをご覧いただけます)